

地域での居場所・役割③

～地域の課題を地域で解決～



少子・高齢社会の進行や住まい方の変化により、半田市でもひとり暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯が増加し、介護予防や生活支援が必要な高齢者が増えています。

高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活が送れるよう、介護保険サービスなどの公的なサービス以外にも、地域のみなさんがボランティアとして、介護予防や生活支援を担っていただいている活動があります。これらの活動は、地域の高齢者を支えるばかりでなく、活動している方自身の介護予防にもつながっています。

今回はそのような地域の課題を、地域で解決している事例をご紹介します。

ふくし井戸端会議

自分たちのまちを、
みんなの力で住みやすく!

ふくし井戸端会議は、地域の中で困っていることや地域の役に立ちそうなことを取り上げ、地域でどのようなことができそうか、住民のみなさん・社会福祉協議会・福祉事業所・市職員などが集まって話し合い、考え、行動に移していく場です。

亀崎・乙川・半田・成岩・板山・花園の6地区に分かれ、年4～6回ほど開催しています。日時・場所などの詳細は、回覧板や市ホームページなどでお知らせしていきます。

誰もがいつまでも、住み慣れたまちで自分らしく暮らし続けていけるよう、みなさんのご意見・アイデアをお待ちしています。まずはお気軽にご参加ください。



乙川中学校区ふくし井戸端会議の様子

地域の支えあい活動

地域で困っている人を応援したい

ふくし井戸端会議などがきっかけとなり、地域の困りごとを、地域の人で応援するボランティアグループが立ち上がっています。現在は「亀崎思いやり応援隊」「やなべお助け隊」「ならわ思いやり隊」「住吉ささえたい」の4団体が活動しています。

高齢や障がいがあるといった理由で困っている方を対象に、庭木の剪定や電球の交換、簡単な建具の修理など、家でのちょっとした困りごとの応援をしています。

また、この活動はボランティアの方々にとっても、地域の方とふれあいながら、生き生きと体を動かすことで、介護予防につながっています。

応援の依頼やボランティア活動への参加に興味がある方は、地域福祉課へお問い合わせください。各団体の連絡先をご紹介します。



亀崎思いやり応援隊のみなさん

【問合わせ】 地域福祉課 ☎84-0641